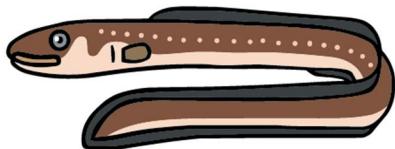


## 千葉県 沿岸重要水産資源 令和7年度資源評価

## マアナゴ



- 東京湾においては、あなご筒、小型機船底びき網で、銚子・九十九里においては、沖合底びき網、小型機船底びき網、はえ縄で漁獲される。
- 産卵場は、沖ノ鳥島南方の九州 - パラオ海嶺上で、葉形仔魚（通称：のれぞれ）が日本沿岸に来遊する。

## 資源評価

東京湾		銚子・九十九里	
水準：低位	動向：不明( )	水準：中位	動向：減少
	-		➡

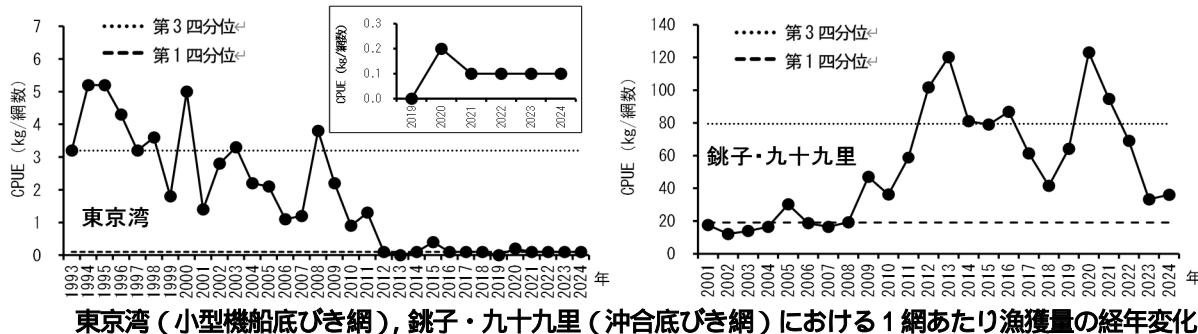
注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から四分位数により評価した。

資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

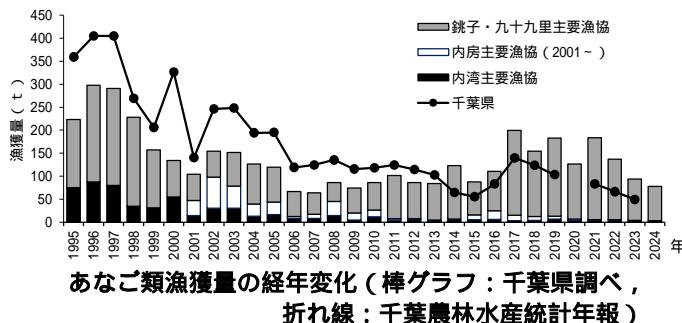
近年の資源水準は低水準であり、現在、集計対象の標本漁船ではマアナゴを目的とした操業がほとんど行われていないことから、最近5年間の1網当たり漁獲量の変化は資源動向を的確に表していない可能性があり、不明とした。

## 資源評価の指標

- 資源水準及び動向は、小型機船底びき網（東京湾）又は沖合底びき網（銚子・九十九里）の操業日誌から集計したCPUE（1網当たりの漁獲量）で判断した。なお、標本漁船の隻数は年によって変わり、東京湾で6~12隻、銚子・九十九里で1又は2隻で推移した。
- 2024年の資源水準、最近5年間の資源動向は、東京湾では低位、不明（）、銚子・九十九里では中位、減少傾向にある。



## 漁獲量



- 千葉県におけるあなご類の漁獲量は、1998年以降、減少傾向で、近年東京湾では10t以下の低水準である。一方、銚子・九十九里では2021年以降減少傾向であり、2024年は75tとなった。

## 資源管理の取組

- 東京湾においては、小型機船底びき網で休漁日の設定、操業時間の制限及び漁具の制限、あなご筒で水抜き穴の拡大による小型魚の保護など、銚子・九十九里においては、小型機船底びき網で改良漁具導入による小型魚の保護や沖合底びき網で操業の制限など、漁業者による自主的な資源管理が行われている。